



**120年前の【川上音二郎・貞奴アルバム】を修復し、デジタル化をする  
公益財団法人松竹大谷図書館、クラウドファンディング「Readyfor」にて**

**「【第7弾】世界へ翔んだ、川上音二郎・貞奴の軌跡を未来へ。」プロジェクトを、  
9月4日(火)開始**

公益財団法人 松竹大谷図書館（東京都中央区）は、同図書館運営及び所蔵資料の修復とデジタル化のための資金調達を目的とした「【第7弾】世界へ翔んだ、川上音二郎・貞奴の軌跡を未来へ。」プロジェクトを、本日9月4日より READYFOR 株式会社（東京都文京区、代表取締役：米良はるか、樋浦直樹）が運営するクラウドファンディング「Readyfor」にて開始いたします。

公益財団法人松竹大谷図書館は、昭和33[1958]年に開館した演劇・映画専門の私立図書館で、歌舞伎やその他の演劇・映画に関する、台本、プログラム、写真、文献、雑誌、などの資料を無料で一般公開しています。松竹が手掛けた興行関連資料から他社の資料まで、総数約47万点を幅広く収蔵し、利用者へのサービスに努めています。その所蔵資料は貴重なものが多く、なかでも、本図書館が保存している【川上音二郎・貞奴アルバム】には、明治32[1899]年から33[1900]年にかけて行われた川上音二郎・貞奴一座の欧米公演に関する資料、現地の記事や、音二郎・貞奴をはじめとする座員達の手紙や葉書、写真など、当時の公演の状況を知る上で大変貴重な資料が貼り込まれています。これは当時サンフランシスコ在住の画家・青木年雄が、養女のために残したものとされています。実は彼の養女は川上音二郎の姪で青木鶴子といい、のちに映画女優となり、日本人ハリウッドスター早川雪洲夫人となったことで知られる女性です。



経年劣化により、表紙から台紙が剥がれた状態の【川上音二郎・貞奴アルバム】

作られてから約120年が経ち、今では表紙から台紙が剥がれ、このままではアルバムそのものが経年劣化により崩壊する恐れがあり、保存が大変難しい状況となっています。そこで今回のプロジェクトでは、支援金により、このアルバムを補修・デジタルアーカイブ化を行い、修復後のアルバム原本は保存容器に保管、アルバムの内容については画像で閲覧出来るようにし、研究などに活用して頂きたいと考えています。

**【第7弾プロジェクト概要】**

プロジェクト名：「【第7弾】世界へ翔んだ、川上音二郎・貞奴の軌跡を未来へ。」

(<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan7>)

■募集期間 平成30年9月4日(火)～10月24日(水)【50日間】

■実行者 松竹大谷図書館事務局 武藤祥子

■目標金額 250万円(図書館の平成30年度運営資金：180万円／

【川上音二郎・貞奴アルバム】の補修・デジタル化費用：70万円)

■募集金額設定 一口 3,000円/5,000円/10,000円/30,000円/50,000円

■リターン 支援金額に応じて趣向を凝らしたリターンがプラスされます。

【3,000円～】松竹大谷図書館HPにお名前記載

【5,000円～】当プロジェクト限定 歌舞伎台本『妹背山婦女庭訓』と、映画台本『張込み』の表紙デザインの文庫本カバー

【10,000円～】所蔵する台本(歌舞伎・映画)のうち、約200タイトルの中から支援者にお好きな作品を選んでいただき、その台本カバー(台本を保護するための手作りカバー)に支援者のお名前を載せる権利

【30,000円～】川上演劇『意外』絵本番付のオリジナル文庫本カバー／松竹大谷図書館オリジナルチケットホルダー

【50,000円～】歌舞伎映画『紅葉狩』『鏡獅子』上映会ご招待／松竹大谷図書館書庫ガイドツアーご招待



「歌舞伎台本」文庫本カバー[左]  
「映画台本」文庫本カバー[右]  
※大きい方は本物の台本  
文庫本カバーは見本

※松竹大谷図書館は公益財団法人ですが、このプロジェクトで集める支援金に関しては、購入型のクラウドファンディングを利用するため、本プロジェクトでご支援いただいた方は、税制上の優遇措置は受けられません。

**【【川上音二郎・貞奴アルバム】の補修とデジタル化について】**

今回の補修は(有)紙資料修復工房にお願いいたします。補修費用を最小限に抑えるため、アルバムの布表紙部分と台紙部分を別々に処置し、将来アルバムの形に復元する際には今回の処置が支障をきたすことが無いような処置を行って頂きます。

■(有)紙資料修復工房 URL: <http://www.padocs.co.jp/> Tel: 0422(26)5006



また、デジタル撮影は株式会社インフォマージュにお願いします。

■株式会社インフォマージュ URL: <https://www.infomage.jp/> Tel : 03(5546)0601

### 【松竹大谷図書館、これまでのクラウドファンディング】

本図書館は常に財政が厳しく、平成24[2012]年、専門図書館としては初めて、運営資金を募集するためのクラウドファンディングプロジェクトを「Readyfor」で実行しました。以来、昨年まで合せて6回のプロジェクトを実行し、いずれも目標金額を達成し、これまでに累計で約1,700万円を超えるご支援を頂いています。

#### 1) 「歌舞伎や『寅さん』、大切な日本の文化の宝箱を守る。」

■募集期間 平成24年9月3日(月)～10月23日(火)

■目標金額 200万円(図書館の運営資金) / ■結果 272名から357万9千円の支援金

#### 2) 「【第2弾】歌舞伎や映画、大切な日本の文化を次世代に残す。」

■募集期間 平成25年9月18日(水)～11月6日(水)

■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化資金) / ■結果 243名から291万円の支援金。

大正14[1925]年創刊の映画雑誌『蒲田週報』の合本を解体し、修復・デジタル化に成功。

#### 3) 「【第3弾】日本文化の宝・歌舞伎や映画の記憶を未来につなぐ。」

■募集期間 平成26年9月9日(火)～10月29日(水)

■目標金額 280万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化資金) / ■結果 263名から296万5千円の支援金。

5千枚以上の「芝居番付」のデジタルアーカイブ化を完了。検索閲覧システムを公開。

#### 4) 「【第4弾】歌舞伎や映画、日本文化の歴史を後世に伝える。」

■募集期間 平成27年9月8日(火)～10月28日(水)

■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化資金) / ■結果 238名から287万8千円の支援金。

「GHQ検閲歌舞伎台本」400冊のデジタルアーカイブ化を完了。検索閲覧システムを公開。

#### 5) 「【第5弾】歌舞伎や映画、鮮やかな日本文化の遺産を守り復元する。」

■募集期間 平成28年9月6日(火)～10月26日(水)

■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料のデジタル化及び復刻版制作資金) / ■結果 164名から278万円の支援金。

「組上燈籠絵」161枚のデジタルアーカイブ化、検索閲覧システムを公開。厳選3作品の復刻版制作を完了。

#### 6) 「【第6弾】歌舞伎や映画、銀幕が伝えた記憶を宝箱で守る。」

■募集期間 平成29年9月5日(火)～10月25日(水)

■目標金額 250万円(図書館の運営資金、所蔵資料アーカイバル容器制作資金) / ■結果 220名から260万5千円の支援金。

【映画スクラップ】を1冊ずつ収める「タトウ式保存箱」を233箱、1,596冊を約30冊ずつ収める「組み立て式棚はめ込み箱」48箱を制作し、スクラップの収納を完了。



「タトウ式保存箱」に1冊ずつ収納された松竹作品の【映画スクラップ】

### 【松竹大谷図書館について】

公益財団法人松竹大谷図書館は、松竹株式会社の創業者の一人、大谷竹次郎が昭和30[1955]年に文化勲章を受章したのを記念して、演劇、映画に関する貴重な資料を後世に残し、一般に公開したいという想いで設立した、演劇・映画の専門図書館です。演劇(歌舞伎・文楽・新派・商業演劇を中心に)、映画、日本舞踊、テレビに関する書籍、雑誌、台本、写真、プログラム、ポスターなどの資料を収集し、その資料数は約47万余点に及んでいます。

○名称：公益財団法人松竹大谷図書館(昭和31年12月26日設立)

○住所：〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階

○電話：03(5550)1694

○開館時間：平日午前10:00～午後5:00

○休館日：土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日

URL: <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

Facebook: <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>



松竹大谷図書館の閲覧室

公益財団法人松竹大谷図書館 事務局 03(5550)1694

URL: <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

READYFOR 事務局 03(6801)5767(平日10:00~17:00)

MAIL: [press@readyfor.jp](mailto:press@readyfor.jp) URL: <https://readyfor.jp/>